

様式 A-1
(FY2024)

2024年 9月 17日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 埼玉県立浦和第一女子高等学校
2. 講師氏名: Ms. Malshani Lakshika PATHIRATHNA
3. 講義補助者氏名: 瀬戸 菜月 様
4. 実施日時: 2024年 9月 17日 (火) 15:25 ~16:15
5. 参加生徒: 2 年生 15 人、 3 年生 1 人、 4 年生 1 人 (合計 17 人)
備考: (例: 理数科の生徒) 総合的な探究の時間 Group 3(SDGs Goal 3)の生徒
6. 講義題目: スリランカにおける母親のライフスタイルと心理社会的要因が出生体重に与える影響について
7. 講義概要: スリランカの紹介、講師の先生の生い立ち、研究に至ったきっかけ、研究内容
8. 講義形式:
☒ 対面 ・ ☐ オンライン (どちらか選択ください。)
 - 1) 講義時間 50 分 質疑応答時間 10 分 (事前にお送りした質問に、講義中にお答えいただいた)
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義
 - 3) 事前学習
☒ 有 ・ ☐ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 送っていただいた Abstract を使って、事前に読み、日本語訳をつけた
9. その他特筆すべき事項:

スリランカの紹介や講師の先生の生い立ちから研究内容まで、非常に分かりやすいスライドと、簡単な英語での紹介のおかげで、生徒の理解が深まった。また、事前にお送りしていた質問に対しても、別でスライドをご用意いただいた上でご回答いただき、生徒は非常に喜んでいました。事前にお送りいただいた Abstract も分かりやすく、生徒は班ごとにパラグラフ単位で読み、日本語訳をつけ、全体で共有し、それを事前学習としたので、当日も内容が頭に入りやすいということであった。

事前準備としても、常にメールの回答が迅速であり、非常に実施しやすかった。講義補助者である瀬戸様も、生徒の様子をよく見ていただけており、助かった。

生徒のアンケートでは、またお話を聞きたいと全員の生徒が回答しており、ぜひまた今後とも機会が設けられると有難いと思っています。個人的にも非常に興味深い内容であり、勉強になりました。ありがとうございました。

Form B-2
(FY2024)
Must be typed

Date (日付)
18/09/2024
(Date/Month/Year: 日/月/年)

Activity Report -Science Dialogue Program-
(サイエンス・ダイアログ 実施報告書)

- Fellow's name (講師氏名): Malshani Lakshika Pathirathna (ID No. P22407)

- Name and title of the lecture assistant (講義補助者の職・氏名)

Ms. Natsuki Seto

- Participating school (学校名): Urawa Girls' Upper Secondary School (Urawa-city,Saitama)

- Date (実施日時) 17/09/2024 (Date/Month/Year: 日/月/年)

- Lecture title (講義題目):

Impact of maternal nutrition on neonatal birth weight: A prospective study in Sri Lanka

- Lecture format (講義形式):

◆☒ Onsite ・ ☐ Online (Please choose one.)(対面 ・ オンライン)((どちらか選択ください。))

◆Lecture time (講義時間) 50 min (分), Q&A time (質疑応答時間) min (分)

◆Lecture style (ex.: used projector, conducted experiments)

(講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など))

Used Power Point presentation (used projector).

- Lecture summary (講義概要): Please summarize your lecture within 200-500 words.

The flow of my lecture was: 1) introduction to myself; 2) introduction to my country, Sri Lanka; 3) my motives to become a researcher; and 4) introduction to my research in Japan. During the explanation of my research, I explained why low birth weight (LBW) deliveries are a problem?, risk factors for LBW, and the situation in Sri Lanka and Japan in relation to LBW. At the end of the lecture, I answered to few additional questions that the students send me in advanced.

◆Other noteworthy information (その他特筆すべき事項):

- Impressions and comments from the lecture assistant (講義補助者の方から、本プログラムに対する意見・感想等がありましたら、お願いいたします。):

It was a very meaningful time and a good learning experience for me.

I think the fact that students went through the lecture materials and prepared questions in advance made the learning time even better.

I thought it was unfortunate that the class time was a little short and we did not have time for a

Q&A session. It would have been better if we could have had time for discussion with the students instead of a one-way lecture.

とても有意義な時間で、私にとっても良い勉強になりました。

事前に、講義資料に目を通して、質問を用意してくださったことで、より良い学びの時間になったと思います。

授業時間が少し短く、質疑応答の時間が取れなかったことが残念だったように思いました。一方的に講義をするのではなく、生徒さんとのディスカッションの時間がとれるとより良かったと思いました。



10PS Science Dialogue 2024
For what Sri Lanka is famous?

- Natural beauty
- Buddhism
- Ceylon tea
- Gemstones
- Unique food- Rice and Curry
- Spices
- Ayurveda
- Exciting local festivals- Perahera
- Warm hospitality

